

2023年12月 互選

課題 「傷」

集句 144句 投句者数 72人 投票者数 56人

入選 26句 (5票以上)

投句者と略号

アカエタカ	/	ア	片山かずお	/	片	田島 晋	/	晋	樋口りゑ	/	ゑ
安藤なみ	/	波	春日綾乃	/	乃	高田桂子	/	桂	藤井康信	/	康
信天翁	/	翁	北田のりこ	/	の	田村美穂	/	穂	福村まこと	/	福
赤松重信	/	重	休鷄	/	鷄	武井わこう	/	武	船岡五郎	/	船
足立ミツエ	/	足	北原おさ虫	/	虫	知久白峯	/	白	星野睦悟朗	/	睦
芦田敬子	/	敬	北村幽芳	/	幽	寺井一也	/	也	町田 綾	/	町
青砥たかこ	/	た	木村行吉	/	行	徳重美恵子	/	恵	松長一步	/	長
あやめみのり	/	あ	小林祥司	/	祥	西田峰春	/	峰	美作憲司	/	憲
戴 けいこ	/	け	坂本加代	/	坂	西上遊二	/	遊	宮尾柳泉	/	泉
大木雅彦	/	雅	真田義子	/	義	西岡ゆかり	/	ゆ	宮尾美明	/	美
岡埜陽香	/	埜	颯爽	/	爽	西山竹里	/	里	宮本信吉	/	信
大澤 葵	/	葵	翔のんまな	/	翔	はぐれ雲	/	雲	村上佳津代	/	村
大島ともこ	/	島	澁谷さくら	/	さ	花井志満子	/	志	森下博史	/	博
岡村水無月	/	水	柴田比呂志	/	比	隼人	/	隼	柳谷益弘	/	益
金子鋭一	/	鋭	すずき善作	/	作	橋倉久美子	/	久	やんちゃん	/	や
風間なごみ	/	な	竹中正幸	/	竹	ぱせり	/	ぱ	山宗雲水	/	宗
加藤吉一	/	吉	多川義一	/	多	羽馬愚朗	/	羽	八木五十八	/	八
甲斐良一	/	甲	たごまる子	/	る	平尾定昭	/	定	吉崎柳歩	/	柳

入選句 5票以上の句

票数	句番	句	作者	略号	投票参加	投票者
20	43	傷を見て卒倒してはならぬ医者	西山竹里	里	有	波足た島甲乃の祥さ竹 穂武恵雲久ば定福宗柳
19	4	生傷が絶えることない世界地図	小林祥司	祥	有	た埜葵水坂義爽さ比竹 る晋穂白雲隼信益宗
17	14	傷はもうきれいな皺になりました	澁谷さくら	さ	有	翁あ埜葵水甲の虫比る ゆ雲福船憲博柳
13	38	包帯を巻かれて格を上げる傷	橋倉久美子	久	有	ア足敬甲虫祥作竹る里 ゑ福村
13	72	金継ぎをされて値打ちを上げた傷	北田のりこ	の	有	敬鋭甲行爽さ作る里福 宗八柳
12	96	安静にしなくてもよいかすり傷	西山竹里	里	有	敬た甲祥作る武白久ゑ 福柳
12	126	ねちねちと言われ低温火傷する	星野睦悟朗	睦		あ甲の虫行作穂武雲長 泉八
10	93	傷のあるリンゴ優しいジャムになる	澁谷さくら	さ	有	アの行恵里隼ば定村八
9	120	大袈裟に包帯巻かれ照れる傷	甲斐良一	甲	有	吉乃祥爽さ白ゆ福村
8	53	騒ぎ立て傷を拡げのお節介	福村まこと	福	有	足埜乃祥義爽武久
8	54	自分から傷つきに行くエゴサーチ	春日綾乃	乃	有	翁あけ葵虫久ゑ宗
7	23	映画ではかっこよく付く顔の傷	たごまる子	る	有	葵さ恵里久ゑ信
7	67	傷口をちょっと突いて黙らせる	赤松重信	重	有	行武久定ゑ憲柳
6	10	火傷するつもりで歩くネオン街	柴田比呂志	比	有	アあ鋭恵隼博
6	35	ただ無言原爆ドーム核の傷	徳重美恵子	恵	有	け島坂義比隼
6	44	すり傷に効いた昭和のちちんぷい	柳谷益弘	益	有	鶏虫比白ば憲
6	63	カレンダーを貼り替え隠す壁の傷	芦田敬子	敬	有	波け鋭さ白ば
6	69	侮れば紙の縁でも指を切る	武井わこう	武	有	波足坂白恵船
6	104	直感で生きてためらい傷がない	颯爽	爽	有	重乃竹定船八
5	18	触らぬよう見ないふりする深い傷	大島ともこ	島	有	吉坂羽長村
5	46	この国のかたち幾多の傷の跡	金子鋭一	鋭	有	行坂爽晋八
5	71	傷一つつく度に増す人間味	戴 けいこ	け	有	埜島竹晋羽
5	106	ヒーローは致命傷でも飛び回る	アカエタカ	ア	有	波島祥ゑ博
5	113	目立たない傷でとことん値切られる	橋倉久美子	久	有	たあ行泉信
5	127	車庫入れが下手で愛車は傷だらけ	知久白峯	白	有	波敬たゆば
5	137	鑑定士小さな傷も見逃さず	青砥たかこ	た	有	波敬義恵里

4票から1票の句

票数	句番	句	作者	略号	投票参加	投票者
4	2	壁の穴子の思春期が揺れた跡	宮尾柳泉	泉	有	埜水竹晋
4	22	遺伝子に残るコロナの刀傷	北原おさ虫	虫	有	重乃比隼
4	24	古傷がチクチク痛むクラス会	田島 晋	晋	有	翁義定村
4	31	銃の音 癒えない傷を深くする	風間なごみ	な		あ埜ゆ信

4	56	弁解で更に傷口深くなり	北村幽芳	幽		足たけ益
4	74	傷付けた自分の方が深い傷	たごまる子	る	有	義白羽八
4	79	再婚に小指の傷が疼きだす	多川義一	多		翁重憲信
4	102	手術痕見せ大病の武勇伝	大島ともこ	島	有	ア敬乃益
4	110	既読にはならず傷つくメッセージ	平尾定昭	定	有	翁吉泉益
4	129	聞き上手心の傷にオブラート	岡埜陽香	埜	有	の晋羽益
4	130	絆創膏地球の傷に貼ってある	木村行吉	行	有	翁重爽作
4	139	神様が傷ついた日は雨が降る	樋口りゑ	ゑ	有	比作長博
3	7	恋の傷ラストノートが沁みる朝	隼人	隼	有	翁ゆ信
3	15	聞く人によって程度が変わる傷	船岡五郎	船	有	吉福宗
3	16	包帯は邪魔でしかないかすり傷	安藤なみ	波	有	祥信柳
3	27	傷ついたバナナがあとに残される	樋口りゑ	ゑ	有	アさ里
3	51	今頃になって小指の傷痛む	真田義子	義	有	波隼憲
3	52	反応で性格が出るかすり傷	宮尾美明	美		吉博宗
3	58	嫌われて別れた方が浅い傷	休鷄	鷄	有	水鋭船
3	70	背比べの傷を柱は我慢する	知久白峯	白	有	重け久
3	97	傷ありも腹に入れば同じこと	花井志満子	志		島鷄行
3	103	傍観も傷つくガザとウクライナ	安藤なみ	波	有	水る雲
3	107	煮崩れて傷を舐め合うおでんの具	福村まこと	福	有	あ甲穂
3	109	ごく自然出した言葉が棘に化け	風間なごみ	な		鋭雲ぱ
3	111	裏がある傷ひとつない中古品	西田峰春	峰		ア船長
3	118	傷つけた方にも残る深い跡	西岡ゆかり	ゆ	有	足け鷄
3	124	傷つけるよりも傷つく方が楽	戴 けいこ	け	有	重竹船
3	128	反抗期の爆発受けた壁の傷	高田桂子	桂		敬鋭村
3	140	傷ついているのは泣いていない方	休鷄	鷄	有	け葵水
3	144	自分だけ囚われている過去の傷	町田 綾	町		島恵宗
2	5	優しさと笑いが包む胸の傷	やんちゃん	や		重坂
2	8	高級家具傷ものになり手に入れる	高田桂子	桂		武長
2	13	思い出を柱の傷が語り出す	アカエタカ	ア	有	ゆ泉
2	20	脛に傷キックバックでなおおげ	信天翁	翁	有	の憲
2	32	武勇伝の証になった刀傷	吉崎柳歩	柳	有	虫里
2	33	また噛んでまた振り出しに戻る傷	甲斐良一	甲	有	羽柳
2	36	負けたこと伏せて古傷ひけらかす	星野睦悟朗	睦		定泉
2	49	傷跡が疼く自分史繰る夕べ	岡埜陽香	埜	有	坂羽
2	59	母ちゃんが舐めると傷はすぐ治る	松長一步	長	有	葵村
2	60	傷ついて取り残される渡り鳥	吉崎柳歩	柳	有	吉穂
2	77	ギザギザの心の傷が滑り止め	森下博史	博	有	晋船
2	81	それぞれの傷口過去が顔を出す	ぱせり	ぱ	有	鷄ゆ
2	84	傷口に万能母のおまじない	信天翁	翁	有	鷄益
2	88	傷ついた桃も流れているこの世	柴田比呂志	比	有	水八
2	90	目に見えぬ傷も婆ちゃんペロリ舐め	青砥たかこ	た	有	晋雲
2	119	針の先ちょっと入って飛び上がる	坂本加代	坂	有	武長
2	136	感傷に無縁で落ち葉掃く仕事	金子鋭一	鋭	有	爽羽

1	1	擦り傷に大泣きの孫ぎゅっと抱く	西上遊二	遊		定
1	3	傷つかぬようにフルーツキャップつけ	武井わこう	武	有	た
1	6	背比べ柱にあった犬の傷	あやめみのり	あ	有	埜
1	17	傷があるどこでついたか覚えなし	ぱせり	ぱ	有	鶏
1	21	点額を肝に銘じて踏む一步	羽馬愚朗	羽	有	島
1	25	湯たんぽで妻と絡んだ足の傷	多川義一	多		博
1	39	ワケアリの傷は承知でお買い得	すずき善作	作	有	鋭
1	40	擦り傷に効いたおばあちゃんの唾	片山かずお	片		益
1	48	懲りもせぬ男を古傷が叱る	颯爽	爽	有	ゑ
1	64	欲張って大きい桃につけた傷	町田 綾	町		長
1	65	私には名誉の傷はありません	田村美穂	穂	有	義
1	73	恋の傷ばれないようによく笑う	真田義子	義	有	の
1	76	人生の傷跡ボクの宝もの	寺井一也	也		る
1	82	古傷を覆って励む現在地	宮尾柳泉	泉	有	穂
1	83	子育て中 切らしちゃならぬ傷テープ	村上佳津代	村	有	ぱ
1	85	赤チンで何でも治す母の指	大木雅彦	雅		虫
1	86	傷ついた言葉人には使わない	足立ミツエ	足	有	葵
1	87	背比べ柱の傷が宝物	北原おさ虫	虫	有	鶏
1	91	スマホから聞こえる鬼の噛い声	八木五十八	八	有	泉
1	94	心の傷を負って優しさ情け知り	北村幽芳	幽		憲
1	95	誰だって一つやふたつ脛に傷	柳谷益弘	益	有	隼
1	98	心の傷癒してくれる猫動画	西上遊二	遊		比
1	100	傷あとは残り記憶は消えぬまま	やんちゃん	や		泉
1	101	前例にならってやって火傷する	小林祥司	祥	有	吉
1	108	エリザベスカラー心に着けてみる	羽馬愚朗	羽	有	作
1	116	古傷はいつも健診引っ掛かる	松長一步	長	有	乃
1	121	かすりキズ程度で保険下りて来ぬ	すずき善作	作	有	ア
1	125	古傷を勲章にして這い上がる	寺井一也	也		足
1	135	日記帳ためらい傷の跡がある	赤松重信	重	有	穂
1	138	パーマンが飛び損なった眉の傷	大澤 葵	葵	有	博